

飛沫感染	感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。
接触感染	感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが手につきます。他の方がそれに触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。



新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、咳が長く続く（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。

感染から発症までの潜伏期間は1日から12・5日（多くは5日から6日）で、飛沫感染と接触感染によりうつると言われています。

日常生活で気をつけること

こまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。咳の症状がある方は、3つの「咳エチケット」に努めましょう。

- ①マスクの着用
- ②ティッシュ・ハンカチで口や鼻を覆う
- ③袖で口や鼻を覆う

新型コロナウイルス

予防するにはどうしたらいい？

新型コロナウイルス感染症とは

日常生活で気をつけること



新型コロナウイルス 対策本部を設置

町では、新型コロナウイルス感染症の国内・道内での感染が増加していることから、今後の感染拡大を防止するため、2月26日付けで町長を本部長とする「新型コロナウイルス対策本部」を設置しました。

町としては、引き続き、感染拡大防止のための情報提供や注意喚起に努めます。

町民の皆さんも手洗い・咳エチケット・マスクの着用など、感染の予防に努めていただきたいと思います。

また、町が主催（共催）する行事・イベントなどの開催は、下記の基準で対応しますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、各団体などが開催する行事・イベントなどについても、感染拡大の防止という観点から開催の必要性を改めて検討していただこうをお願いします。

【問い合わせ】

新型コロナウイルス対策本部事務局
町住民保健課健康推進グループ
☎2256

中止を決めた主な町の行事・イベントなど（2月25日現在）

月日	行事・イベント名	主催
3月4日	高齢者演芸会	町社会福祉協議会
3月5日	いきいき度測定	町地域包括支援センター
3月7日	ひなまつりコンサート	ひなまつりコンサート実行委員会
3月18日	オレンジカフェ	町地域包括支援センター
3月23日	国際交流のつどい	町教育委員会
3月25日	権利ようごセミナー	町福祉課高齢者・介護グループ
3月28日	春のロビーコンサート	栗山少年少女合唱団
3月中	子育て支援行事など	子育て支援センター

新型コロナウイルス感染防止のため相次ぐ行事・イベントを中止

2月25日現在で、感染拡大防止の目的により中止が決定した行事・イベントは左記のとおりです。今後も、行事・イベントの中止や延期などが考えられますので、主催者などに問い合わせください。

こんな方はご注意ください！

- 次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」に相談しましょう。
- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている
 - 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- ※**高齢者や基礎疾患（慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、動脈硬化症、糖尿病など）がある方は、重症化しやすいため、上記の状態が2日程度続く場合は相談しましょう。**
- ※妊婦の方も念のため、重症化しやすい方と同様に早めに相談しましょう。



【帰国者・接触者相談センター】

岩見沢保健所
☎0126-20-0122
平日 8:45～17:30
北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
☎011-204-5020
平日 17:30～21:00
土日祝 9:00～21:00

【一般相談窓口】

岩見沢保健所
☎0126-20-0100
平日 8:45～17:30
北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
☎011-204-5020
平日 17:30～21:00
土日祝 9:00～21:00

情報は日々更新されているため、最新の情報を北海道のホームページで確認しましょう。
【北海道のHP】 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/singatakoronahaien.htm>

町主催（共催）イベント・会議等の開催基準等

- 町では、国や北海道の感染予防対策の考え方に基つき、3月末までの町が主催（共催）するイベント・会議等について、次のとおり対応します。
1. **基本的な考え方**
 - ◆**原則、中止または延期するもの**
 - 町内外の不特定の方が集まるイベント・会議等（屋内外問わず）
 - 屋内で行う不特定の高齢者が参加するイベント・会議等
 - 屋内で行う不特定の妊婦や乳幼児、乳幼児の保護者が参加するイベント・会議等
 - 接触リスクが高い懇親会・交流会等
 - 医療従事者や消防職員など、救命救急に従事する者が参加する会議等
 - ◆**原則、開催するもの**
 - 各学校の卒業式など、延期ができないもの
 - 関係機関との諸会議等の参加者が特定できるもの
 - ※規模の縮小について検討する。
- ◆**その他**
- 緊急度の低いものや、延期が可能なもの、閉鎖的な空間で参加者相互の接触リスクが高い（近距離で行うグループ協議等）イベント・会議等は適宜、中止または延期の検討を行う。
 - 2. **開催する場合の感染防止対策**
 - 感染源の持ち込み防止
 - 風邪の症状がある方または基礎疾患をお持ちの方には、会議等への参加自粛の協力要請をする。
 - 会場入口にアルコール消毒液を設置する、または手洗い（石鹸使用）を促す。
 - 感染ルートの遮断
 - 会議等の最中は、マスク着用と咳エチケットの徹底を促す。
 - 会議等が終了した場合は、換気を十分に行う。
 - 会場内は一定の温度（20～25度）・湿度（40%を下回らない）を保つよう努める。